

市事務事業の 外部評価結果

～市外部評価委員会～

学識経験者と市民公募者で構成する市外部評価委員会（委員8人）は、行政経営システムの中で取り組みを行っている事務事業のうち23の重点施策などを評価し、12月27日、市長に評価結果を報告しました。

評価にあたっては、全6回の委員会を開催し、担当課へのヒアリングや現地視察などを行い、各事務事業の取り組み状況について検証を行いました。

市は、この評価結果を今後の事務事業の改革・改善に反映していきます。

※行政経営システムとは、市のサービス向上と事務事業の継続的な改善を図るものです。

●問い合わせ先 企画政策課（☎372132）

【評価結果】

評価	事業数
A= 必要かつ有効であり推進することが妥当	22
B= 改善を図りながら継続することが妥当	1
C= 一部修正・再検討が必要	0
D= 見直し・休止・廃止について検討が必要	0
合計	23

▽23の事務事業について「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行った結果は、上表のとおりです。

▽評価点は、8人の委員が事務事業ごとに事業の妥当性や効率性などを5点満点で評価したものの平均です。

【総評】

▽地域の課題を市民と共有し、互いが持つ役割と機能を最大限に活用しながら、地域の魅力や特性を活かしたまちづくりを推進してください。

▽教育・文化都市を目指して、消えゆく相馬古来の歴史伝統文化に対する畏敬（いけい）の念を市民全体で共有し、関係団体と連携しながら歴史伝統文化の保存や伝統芸能の普及・継承、担い手の育成に努めてください。

▽市勢発展のため、財政的な見通しを

十分に見極めながら、市民の要望にこたえるべく社会資本の整備を進め、各施設の運営が有効かつ効率的に行われるようソフト面の充実を図ってください。

▽原子力災害の風評被害の払拭のために、正しい情報の発信や交流人口の拡大および地産地消の取り組みなど、放射能対策など関連事業を弛まず推進してください。

外部評価委員からひとこと

梶田浩二委員長

今年度は、対象事業を23事業に絞り込み、より深くさまざまな方向から評価できたものと考えています。

あの震災から8年経つ今も残る風評被害の払拭、少子高齢化に向けての出産育児、介護の支援、見守りの構築など、将来に向けて事業展開が多様化する中、担当職員の方々の努力はヒアリングからも感じられ頭の下がる思いです。

私たち市民も自治体関係団体と共通の意識を持って、参画できる事業には積極的に参画し、成長から成熟へと発想を転換しながら各事業の推移を見守っていかなければならないものと考えます。

本年度の事業を終えるにあたり、時間的に余裕のない厳しい日程の中で事業評価をしていただいた委員の皆さまに感謝します。

No.	事務事業名	点数	評価	コメント
1	戸籍謄抄本等コンビニ交付システムの整備	3.4	B	マイナンバーカードを取得しなければ、コンビニで戸籍謄抄本などの交付を受けることはできないため、同カードを取得するメリットを市民に対し積極的にPRするとともに、利用できるサービスを増やすなど工夫を凝らしながら事業を推進するようお願いします。
2	避難道路の整備	4.4	A	高齢者などの災害弱者に配慮しながら道路を整備するとともに、地元住民のみならず、来訪者（観光客）にも分かりやすい誘導看板の設置を早急にお願いします。
3	子育て・子育てを支援する地域内交流の活性化	4.7	A	子育て世代から高齢者までさまざまな世代の方に参画していただけるよう相馬愛育園の愛称を公募するなどして積極的に施設をPRし、子育て支援ネットワークの構築を図るなど、支援体制のさらなる充実を望みます。
4	心豊かでたくましい子どもを育む保育の推進	4.7	A	各学校の近くに放課後の子どもの居場所が確保されていることは、保護者および児童・生徒に安心感を与えるとともに、女性の社会進出や子育て世代への大きな支援となることから、運用面を含め事業のさらなる充実を望みます。

伊東千恵子委員
今年度は、23事業の評価でしたが、良い評価結果となりました。復興は確実に見える姿になりましたが、少子高齢化による社会保障費の増加、税収の減少、若者の減少と困難な時期が到来します。今より少しでも暮らしやすい、より良い相馬市になるよう委員の方々と知恵を出し合い、来年度も評価してまいります。

小畑強子委員
どんな地域に住みたいか？自分たちの住んでいる所はどんな地域か？委員になって、再度考えさせられました。委員一人一人のさまざまな考えが各事業に少しでも反映される事を願っています。



外部評価結果を受け取る立谷市長

No.	事務事業名	点数	評価	コメント
5	学校施設の整備と充実	4.5	A	教育環境の充実、教育レベル向上には不可欠であり、児童・生徒がより良い環境で学習できるよう施設の整備を促進してください。また、エアコンは、喫緊の課題として特別教室などを含め早急に設置をお願いします。
6	英語教育の充実	4.0	A	英語への興味や関心を高めることは、英語教育の充実に有効であると思われます。英語に携わる教員の資質向上と ALT の人選を考え、児童・生徒の学習意欲を向上・持続させる方法も併せて検討しながら、事業の推進をお願いします。
7	情報教育の充実	4.1	A	情報モラル教育を充実させながら、ICT 機器が有効なツールとなるよう子どもたちが興味を持つような授業での利用を促進してください。
8	農産物の安全性の PR と地産地消の推進	4.5	A	地場産品の安全性の PR、各種メディアを活用して生産者の生の声を伝える機会を増やすなど、風評払拭の取り組みの推進を望みます。また、地産地消の取り組みとして、市内の学校給食に地元食材を使用していることなどを強くアピールしてください。
9	有害鳥獣対策の推進	4.6	A	狩猟者の育成・支援に向けて、初野射撃場を有効に活用するとともに、有害鳥獣による被害を防ぐための講習会などの充実も図りながら、狩猟免許取得を目指す人材の増加に向けた PR 活動を積極的に行うようお願いします。
10	水土保全林の整備	4.3	A	森林里山の整備は、自然災害の防止に加え、豊かな水産資源などを育む大切な事業と考えますので、さまざまなイベントを企画してボランティアなどの協力を得ることや水産業と林業といった異業種の交流なども検討し、健全な森林の再生に努めてください。
11	安全で安心な水産物の生産と地産地消の推進	4.4	A	相馬をアピールできる有力な事業の一つですので、あらゆる手段を用いて積極的に安全性を PR してください。また、水産物直売所は、地元の方々とよく話し合い、共通理解のもと地産地消、観光人口拡大に繋がる施設となるよう整備を促進してください。
12	企業誘致の推進	4.4	A	税収の向上、定住人口増加の観点からも企業誘致は必要であり、関係機関と連携し、立地するメリットなどを積極的に PR するとともに、生活面での利便性を改善しながら事業を推進してください。併せて、キャリア教育の充実など、人材育成を図ることを望みます。
13	歴史を活かした通年観光に向けた取り組み	4.2	A	四季を通じての観光を考え、交流人口拡大に向けて、関係団体と密接に連携し、観光客の目線で物事を考え工夫をしていく必要があります。観光ツアーの企画とツアーガイドの育成をして、体験型観光の充実と情報ツールを利用した PR に努めてください。
14	音楽による生きる力をはぐくむ事業	4.5	A	音楽活動は、市民に夢を与え、そして子どもたちの感性を磨く素晴らしい事業であるので、相馬に芸術文化がより一層定着するよう、財源確保を図りながら事業を継続するようお願いします。
15	市民会館の利活用促進	4.3	A	市民会館の利用状況を把握できるようホームページを改善するとともに、さまざまな分野での利用の可能性を検討しながら、利用者増に向けて積極的に PR をお願いします。
16	歴史伝統文化の保存伝承	4.2	A	歴史伝統文化の保存に加え、次世代にどのように伝承していくかを関係団体と市民を含めて考えていく必要があります。担い手となる子どもたちが歴史伝統文化に触れ、体験できる企画を考えながら事業を推進してください。



外部評価委員の現地視察

櫻村竜也委員

今年度は、23事業に絞った評価をさせていただいたので、担当の皆さんからの説明、質疑応答、現地視察、評価のまとめと内容の濃い評価ができたと思います。今後とも市民と課題を共有し、A評価の事業は内容をより良くより早く、B評価の事業は質を高めて確実に事業を進め、明るく健やかな市民生活が営めるよう市政を進めてください。

土屋大典委員

今年度は、市が行う事業の中から23事業について評価をさせていただきました。22事業においてA評価となりました。これは、今できる事、優先しなければいけない事を的確に遂行している相馬市の取り組みを表しているものと感じました。

今後も各事業において、市民、行政が互いのニーズを把握し、取り組みを共有・連携しながら、市勢発展のため進んでいくことを期待しています。

管野貴拓委員

外部評価委員として初めて評価させていただきました。評価を行うにあたり、現地視察や各課の方から丁寧な説明を受け、有効性や妥当性などを考慮しながら事業の評価ができたのではないかと思います。

今後も相馬の魅力を最大限に活かし、市民がこの相馬に住んでいることを誇れるよう、各事業を推進していただきたいと思います。

鉾建千佳子委員

財源に限りがある中でさまざまな要望を受け、課題に取り組む市職員の苦勞を今年もあらためて感じました。その中でも各事業が確実に進んでいることは大変ありがたいことと思います。

今後も「より良い相馬市」を目指した事業の推進を望むとともに、私も一市民として「共助」の精神で小さなことから実践していきたいと思っています。

三國実加委員

今年度は、評価対象が23事業と昨年度よりも絞り込まれ、より踏み込んで評価することができたと思います。

前年度からの継続事業は、前年度の評価が活かされた内容となっており、市職員の方々の地道な努力によって確実に改善されていると思います。

来年度は新しい元号となります。本市も市民・行政が一体となって、心も新たに事業を推進するよう願っています。

No.	事務事業名	点数	評価	コメント
17	姉妹都市、友好都市等との交流の推進	4.5	A	各協定都市の情報を常時周知しながら互いに事業を推進していくことが、自治体同士の共助や交流人口拡大に繋がるので、さまざまな分野・世代で交流が図れるよう改善しながら事業を推進してください。
18	スポーツ施設の維持管理と利活用の促進	4.6	A	交流人口増加、市民の健康維持・増進を図るために必要な事業であり、施設の利活用促進に向けて積極的にPRしてください。加えて、事業者と連携し市内宿泊施設の「おもてなし」の充実を図り、リピーターの確保にも努めてください。
19	地域ボランティアの活動強化、地域安全対策推進体制の実施	4.7	A	地域におけるボランティア組織の強化・育成は、防犯・交通安全に大きな力となるので、今後も各団体と連携し、事業の強化・推進をお願いします。
20	放射線教育	4.6	A	放射能に対する正しい知識の習得を図るとともに、関心の低下を防ぐため、継続して事業を実施するようお願いします。また、子どもたちにとっても大変重要な知識であるため、継続して積極的に授業に取り入れることを望みます。
21	高齢者への保健、福祉サービスの提供	4.5	A	高齢化社会に向けて重要な事業の一つであり、高齢者が安心して暮らせる生活環境を実現するため、サービスの拡充を図りながら、事業を推進してください。
22	交通弱者、買い物弱者への支援	4.6	A	免許返納者や高齢者に対して、平等でより良いサービスが提供できるよう、利用者のニーズを把握するとともに柔軟に対応しながら事業を推進してください。
23	橋梁・トンネル等の点検・維持管理	4.7	A	生活面の安心安全、またコスト削減の面からも、橋梁・トンネルなどのメンテナンスは欠くことのできない事業です。災害を未然に防ぐ観点から、計画的に事業を実施するようお願いします。